



2025 学 校 要 覧



愛媛大学教育学部附属特別支援学校

Ehime University School for Students with Special Needs

〒790-0855 松山市持田町1丁目5番22号

TEL (089) 913-7891

FAX (089) 913-7892

ホームページ <https://tokushi.edc.ehime-u.ac.jp>
Eメール tokushi@edc.ehime-u.ac.jp

愛媛大学教育学部附属特別支援学校 校歌

作詞 渥見 秀夫
作曲 井上 洋一



1. い し づ ち の や ま の た か さ の そ
2. セ と づ ち の う み の あ お さ の そ
の う え に お ひ さ ま ひ と つ
の む こ う お ひ さ ま ひ と つ
き み も わ た し も ひ と つ の い の ち
お ひ さ ま い つ で も み ん な の ち か ら ー い の
お ひ さ ま み ん な の こ こ ろ の な か に ー い の
ち の か ぎ り こ え か ぎ り ふ ぞ
ち の か さ し く こ え か ぎ り ふ ぞ
く の と も は さ た さ す え あ う み ん
く の と も は さ た さ す え あ う み ん
な が い つ で も み ん な の 力
な が い つ で も み ん な の 力

1 石鎚の 山の 高さの
その上に お日さま一つ
君も私も 一つのいのち
お日さまいつでも みんなの力
いのちのかぎり 声かぎり
附属の友は 支えあう
みんながいつでも みんなの力

2 瀬戸内の 海の 青さの
その向こう お日さま一つ
君も私も 一つのいのち
お日さまみんなの 心の中に
いのちやさしく 声深く
附属の友は 援けあう
みんながみんなの 心の中に

目 次

I	学校概要	2
1	沿革	2
2	愛媛大学附属学校園の理念	5
3	本校の使命	5
4	本校の教育	5
	(1) 学校の教育目標	
	(2) 重点目標	
	(3) 経営方針	
5	学校運営の組織	6
	(1) 教職員の一覧表	6
	(2) 校務分掌	7
	(3) 学校防災全般	8
6	児童生徒数及び各部・学級編制	8
II	教育計画	9
1	教育課程表	9
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
2	指導の形態別週当たり授業時数表	10
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
3	日課表	11
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
4	年間行事計画	13
5	進路指導（卒業時年度別進路状況）	15
III	教育研究活動	16
1	研究の方針	
2	研究の概要	
IV	教育実習	18
1	年度別学生数	
2	本年度の計画	
V	入学者選考	19
VI	P T A・教育後援会・親の会	21
VII	津田山実習地・日常生活訓練施設「みかんの家」	22

I 学 校 概 要

1 沿革

- 昭和42年4月1日 附属小学校に特殊学級1学級設置許可 教官1名配置
8月31日 第1回入学選考 4名入学許可
9月9日 持田地区元文理学部図書室にて授業開始、その後2名編入許可
昭和43年2月28日 昭和43年度入学選考 2名入学許可
4月1日 附属小学校特殊学級1学級増設認可 教官2名増員
持田地区元学生寮を教室に改造し移転
8月27日 編入学選考 8名入学許可
昭和44年3月18日 附属小学校特殊学級第1回卒業式 卒業生4名
4月1日 附属中学校に特殊学級1学級設置認可 教官1名配置
附属小学校特殊学級と同一校舎にて授業開始
第1回入学生徒10名
5月15日 言語障害児教育教員養成課程第1回教育実習開始
昭和45年4月1日 附属中学校特殊学級1学級増設認可 教官2名増員
4月12日 養護学校教員養成課程第1回教育実習開始
4月23日 教育学部教授会にて将来持田地区に養護学校を設置することを決定
6月29日 校舎新築のため城北地区元附属小学校跡へ移転 附属小中学校と離れ特殊学級
単独行事を行うことになる
9月16日 養護学校設置将来計画のもとに鉄筋2階建(一部平屋)1,179㎡の新校舎建築
に着工
昭和46年3月10日 新校舎落成
3月16日 新校舎落成式
4月1日 附属中学校特殊学級1学級増設認可 教官1名増員
4月16日 養護学校設置準備委員会発足 養護学校設置に関する推進母体となる
9月1日 昭和47年度文部省計画に愛媛大学附属養護学校設置が認められる
昭和47年1月10日 愛媛大学教育学部附属養護学校設置政府案決定
3月18日 附属中学校特殊学級第1回卒業式 卒業生4名
4月1日 愛媛大学教育学部附属養護学校設置認可 小学部3学級32名、中学部3学級
30名、初代校長・浅海忠教授外教職員14名にて発足
4月11日 開校式、第1回入学式 小学部5名、中学部5名
4月20日 附属養護学校父母と教師の会発足
9月3日 本館、高等部教室、作業室、体育館の新築に着工
昭和48年3月17日 第1回卒業式、卒業生小学部6名、中学部15名
3月30日 本館、体育館等 新築工事落成
4月1日 高等部1学級認可 教官3名増員
4月20日 高等部第1回入学式 入学生12名
9月11日 学校給食開始
昭和49年4月1日 高等部学年進行に伴い1学級増設 教官2名増員
1月10日 通学用スクールバス購入
昭和50年4月1日 高等部学年進行に伴い1学級増設 教官3名増員
昭和51年4月1日 第2代校長に中村章教授就任
4月10日 松山市北斎院町津田山乙223番地(約14,374㎡)本校農園実習地として財務局
より移管が決まる。以後、PTA、地元公民館有志の協力を得、特に日野PT
A会長の厚志により造成に尽力する
昭和52年3月29日 津田山に教場1棟(129㎡)完成、津田山実習地開場祝賀会を行う
12月16日 校地内の職員住宅を撤去し、運動場を新設 運動場開き小運動会を行う
昭和55年4月1日 第3代校長に永田幸令教授就任
昭和56年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下22名となる
7月1日 養護学校正門および水泳プール(20m5コース、幼児用プール)が完成しプー
ル開きを行う
11月8日 創立10周年記念式典の挙行 記念誌「あゆみ」を発刊し、学校の歌を制定

昭和56年11月30日	スクールバス買い替え
昭和57年4月1日	定数改善により教官1名増、校長以下23名となる
昭和58年3月30日	津田山実習地に農機具庫、作業教室（プレハブ）移設
4月1日	定数改善により教官1名増、校長以下24名となる
昭和59年4月1日	第4代校長に塚本三朗教授就任
	定数改善により教官1名増、校長以下25名となる
昭和60年4月1日	定数改善により教官1名増、校長以下26名となる
昭和62年4月1日	定数改善により教官1名増、校長以下27名となる
昭和63年4月1日	第5代校長に井原栄二教授就任
平成元年6月1日	津田山実習地に水田2aを造成する
平成3年11月24日	創立20周年記念式典を挙げる
	創立20周年記念碑を建立、併せて校旗を制定し、記念誌「あゆみ」を発刊する
	研究の集積として「養護学校の授業を語る」（明治図書）を出版、併せて記念
	に時計を玄関に設置する
平成4年4月1日	第6代校長に久保木道子教授就任
	定数改善により教官1名増、校長以下28名となる
9月1日	津田山実習地に「日常生活訓練施設」着工
11月20日	スクールバス買い替え
平成5年5月14日	日常生活訓練施設の落成式典を挙行し「みかんの家」と命名する
平成6年4月1日	第7代校長に井原栄二教授就任
8月10日	津田山実習地の貯水池改修工事が完成する
平成7年4月12日	校舎壁面補修、全面塗装第1期工事が完了する
4月28日	津田山実習地日常生活訓練施設屋外付帯施設開場式を挙行、「 ^{つづみ} 啄庵」と命名
平成8年3月12日	情報学習室を新設し、関連機器を整備する
3月15日	園芸用温室を設置する
3月29日	校舎・体育館の全面塗装第2期工事及び南側塀の改修工事を完了する
4月1日	第8代校長に水町俊郎教授就任
平成9年4月1日	定数改善により教官1名増、校長以下29名となる
11月	学内ネットワークに接続する
平成10年1月27日	ホームページを開設する
4月1日	持田キャンパス、事務一元化開始
平成11年3月	給食室改造、ドライシステムとなる
6月30日	太陽光発電設備が完成する
平成12年4月1日	第9代校長に建川博之教授就任
平成13年7月	学校安全の為、正門に警備員を配置する
9月17日	創立30周年記念として「コンビネーション遊具」を設置する
11月11日	創立30周年記念式典を挙げる
平成14年3月14日	記念誌「あゆみ」を発刊する
3月	正門監視カメラ、生徒教室・特別教室に非常通報装置を設置する
4月1日	完全学校週5日制が始まる
平成15年2月7日	愛媛教育研究大会（養護学校の部）を平成14年度より2月開催として実施
3月31日	高等部用トイレの新設及び共通・小学部トイレの全面改修を行う
10月1日	校長事務取扱に金藤泰伸教育学部長就任
11月1日	第10代校長に山本万喜雄教授就任
平成16年3月31日	電気室の全面改修工事、正門改装工事、東塀のフェンス取り付け工事、プール
	観覧席屋根の改修工事完了
4月1日	国立大学法人愛媛大学教育学部附属養護学校となる
平成17年7月2日	井戸水ポンプ設置
9月	中学部ベランダ全面改修工事、北棟屋上防水工事、小学部屋根塗装
12月	スクールバス買い替え
平成18年9月	緑の少年団活動開始
平成19年2月	小・中学部に空調設備が入る
4月	国立大学法人愛媛大学教育学部附属特別支援学校となる

平成19年 4月	第11代校長に上岡一世教授就任
11月	高等部に空調設備が入る
平成20年 4月	特別支援学校のセンター的機能の充実を図るための非常勤講師1名を配置
6月	愛媛大学教育改革推進事業（愛大GP）を受け、五校園が連携した特別な教育的ニーズのある子どもへの適切な支援体制の構築への取組を始める
9月	教育学部GPを受け、木工室、布工室に作業機械を設置する トラック買い替え
平成21年 4月	調理室調理台4台・給湯設備の設置、作業学習（クリーン・農耕・印刷）実習 器機の整備
平成22年 3月	校務用コンピューター整備・地上デジタル放送対応テレビ設置 教育環境整備（本館屋上防水シート改修、本館屋上手すりの塗装、本館1階廊 下床改修、小学部玄関壁改修、通路舗装、自転車置き場屋根改修）
5月	愛媛大学教育改革推進事業（愛大GP）を受け、附属五校園の特別支援教育を 重視した教育活動の推進について取組を始める
6月	中学部廊下床、排水溝改修、印刷作業室に空調設備が入る
7月	児童生徒用机・イス補充
平成23年 2月	『将来の「働く生活」を実現する教育—キャリア教育に基づく支援内容・方法 の検討—』（明治図書）を出版する
3月	教育環境整備（全館建具改修、月組・中学部トイレ全面改修、小学部資料室全 面改修、女子更衣室・保健室・職員室・事務室の床改修、小学部シャッター改 修、正門横及び運動場横通路外灯設置、正門カーブミラー設置）
4月	第12代校長に花熊曉教授就任
11月	愛媛大学教育改革促進事業の一環として、愛大GP研修会「授業のユニバーサ ルデザインについて考える公開授業とシンポジウム」を開催する 創立40周年記念事業として、記念式典及び祝賀会を挙げる
平成24年 3月	創立40周年記念事業として、記章・校旗等の新調、校歌の制定、記念誌「あゆ み」の発刊をする
8月	校舎等耐震改修工事着工
平成25年 3月	校舎等耐震改修工事竣工
平成26年 2月	平成25年度キャリア教育優良学校として、文部科学大臣表彰を受賞する。
4月	キャリア教育・就労支援等の充実事業受託
8月	大学の学生向け情報基盤整備に伴い、各教室、情報学習室、印刷作業室等に22 台のコンピューターが配置される
平成27年 3月	給食受室、マルチルーム工事完了
4月	第13代校長に吉松靖文教授就任 キャリア教育・就労支援等の充実事業受託
平成28年 4月	キャリア教育・就労支援等の充実事業受託
平成29年 3月	校務用コンピューターの更新（13台）
10月28日	愛顔つなぐえひめ大会（第17回全国障害者スポーツ大会）開会式式典演技に代 表生徒出演
平成30年12月	東側フェンス工事完了
平成31年 3月	校務用コンピューターの更新（10台）
4月	第14代校長に駕原進教授就任
令和3年 1月	プール改修工事完了
3月	GIGAスクール端末及びシステム納品
10月	高等部生徒用1人1台端末納品
11月2日	創立50周年記念式典を挙げる
令和4年 3月	創立50周年事業として、国旗・式典用横看板の新調、記念誌「あゆみ」を発刊 する
令和5年 4月	第15代校長に榎木暢子教授就任
令和6年	中庭遊具修繕

2 愛媛大学附属学校園の理念

愛媛大学附属学校園は、附属高等学校、教育学部附属幼稚園、同小学校、同中学校、同特別支援学校の5校園からなり、その特色と各校の取組を活用して、共通の理念による教育を実践する。

【共通教育理念】

「未来を拓く人材の育成」

子どもたち一人一人が能力を十分に発揮することによって自らの人生の可能性を拓くとともに、一人一人の特質を生かしながら未来社会の発展に寄与する。

【養いたい三つの力】「ともに生きる力」「たくましく挑戦する力」「知を追い求める力」

3 本校の使命

学校教育法の規定及び愛媛大学附属学校園の理念に基づき、知的障がいのある子どもの教育を行うとともに、次の任務を果たすことを目的とする。

- 教育の理論及び実際に関する研究並びにその実証を行う。
- 教育学部（以下「学部」という。）における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、及び学部の計画に従い学生の実習や介護等体験を実施する。
- 附属校として実践的研究の成果を生かし、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮する。

4 本校の教育

(1) 学校の教育目標

「たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～」

【目指す子ども像】

- 自分のよさを生かし、自主的、主体的な生活のできる子ども
- 自分の思いや願いをもち、学校生活、家庭生活、地域生活、職業生活などの多様な生活の場で役割を果たし貢献できる子ども

(2) 重点目標

- ① 子ども一人一人の障がいの状態やニーズを把握して、発達の視点に立った適切な教育的支援を行い、子どもの可能性を最大限に伸ばす。
- ② 小学部・中学部及び高等部12年間の指導の連続性を重視した一貫教育を行い、自立し社会参加、就労するために必要な力を培う。
- ③ 家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を図り、個別的教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、就学前から高等部卒業後までの一貫した自立的支援に努める。

(3) 経営方針

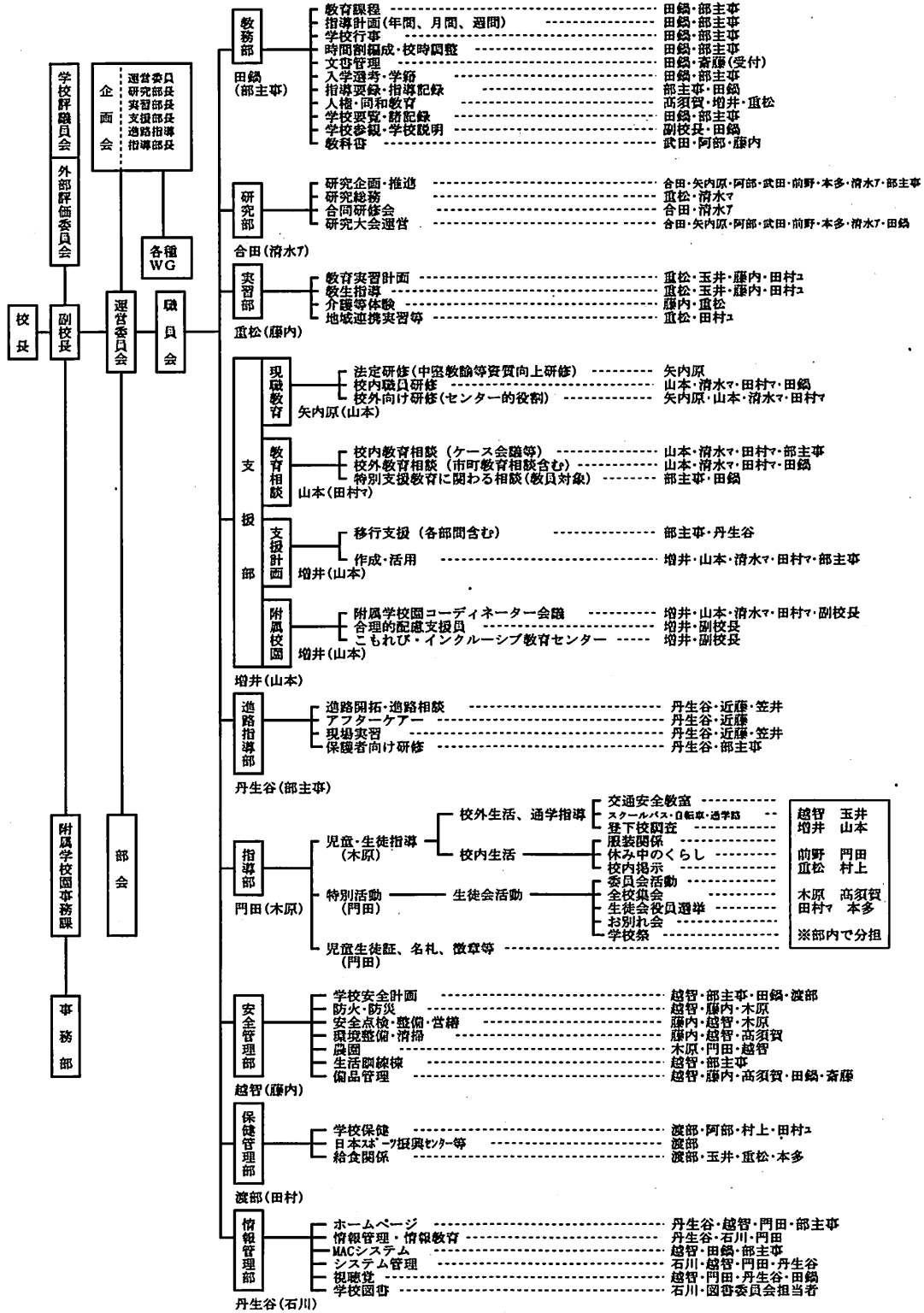
- ① 授業の質の向上を目指す。
機能する最小の支援により、子どもが自ら考えて主体的に活動し、子どもの内面が育ち、子どもが変容する授業を行う。
- ② 研究の質の向上を目指す。
小学部、中学部、高等部12年間の連続性・系統性を重視し、研究過程と結果の見えるストーリー性の高い研究を行う。
- ③ 集団の質の向上を目指す。
子どもの集団、保護者の集団及び教師の集団の質を高める。
- ④ 連携の質の向上を目指す。
子どもの最善の利益を考え、子どものための積極的で前向きな支援の連携を行う。

5 学校運営の組織

(1) 教職員の一覧表

職 名	氏 名	担 当 校 務 等
校 長	櫻木 暢子	
副 校 長	川本 孝	
教 諭	石川 圭	小学部主事
教 諭	笠井真奈美	中学部主事
教 諭	近藤 智彦	高等部主事
教 諭	田鍋 尚佳	教務主任
教 諭	山本 美穂	小学部月組担任・特別支援教育コーディネーター
教 諭	合田 千幸	小学部月組副担任・研究部長
教 諭	矢内原友紀子	小学部花組担任
教 諭	玉井 淳子	小学部花組副担任
教 諭	阿部 順也	小学部星組担任
教 諭	増井日登美	小学部星組副担任
教 諭	越智 政英	小学部
教 諭	武田 詩織	中学部1年担任
教 諭	藤内 瑞代	中学部1年副担任
教 諭	村上 将人	中学部2年担任
教 諭	清水 麻記	中学部2年副担任・特別支援教育コーディネーター
教 諭	前野 麻記	中学部3年担任
教 諭	門田 良介	中学部3年副担任・中学部生徒指導主事
教 諭	重松 万希	中学部・実習部長
教 諭	田村真知子	高等部1年担任・特別支援教育コーディネーター
教 諭	本多 由実	高等部1年副担任
教 諭	清水 彩華	高等部2年担任
教 諭	木原 拓也	高等部2年副担任・高等部生徒指導主事
教 諭	田村 優奈	高等部3年担任
教 諭	高須賀 淳	高等部3年副担任・人権・同和教育主任
教 諭	丹生谷一旭	高等部・進路指導主事
養 護 教 諭	渡部 梨恵	保健主事
非 常 勤 講 師	和田 実華	センター的機能充実のための非常勤講師
教 育 支 援 者	赤岡 英子	中学部の学習支援
教 育 支 援 者	今川 承子	高等部の学習支援
教 育 支 援 者	村瀬 美空	高等部の学習支援
教 育 支 援 者	渡邊 梨央	高等部の学習支援
教 育 支 援 者	福岡 幸恵	高等部の学習支援
合理的配慮支援員	鎌田 有美	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
合理的配慮支援員	道上喜美子	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
合理的配慮支援員	三好 京子	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
合理的配慮支援員	田中亜由美	附属幼・小・中・高の合理的配慮支援
附属学校園事務課		
課 長	鈴木雄一郎	
副 課 長	刈谷 彰司	
自動車運転手	荒木 茂	スクールバス運転
事務補佐員	斎藤 美和	附属特別支援学校事務
用務補佐員	大野 咲子	スクールバス添乗
事務補佐員	高田 淳	津田山実習地・日常生活訓練棟「みかんの家」管理

(2) 校務分掌



各 種 委 員 会	○運営委員会	校長・副校長・部長・主事・教務主任
	○学校安全委員会	
	○いじめ防止委員会	委員会
	○いじめ対策委員会	委員会
	○情報教育推進委員会	委員会
	○学校保健委員会	委員会
	○特別支援教育校内委員会	委員会
	○教育課程検討委員会	委員会
	○予行検討委員会	委員会
	○入学選考委員会	委員会
	○スクールバス検討委員会	委員会
	○ブル管理委員会	委員会
	○自己評価委員会	(学校評価委員会・外部評価委員会)
	○研究推進検討委員会	委員会
○制服等検討委員会	委員会	

特 別 校 務	P T A (幹事:副校長 会計実務:副校長 教養部:篠内 福祉部:渡部)	
	教育後援会 (副校長) 会計実務:副校長	
	親の会 (副校長) 会計実務:田鍋	
	同窓会 (部主事・丹生谷・田鍋)	
	市担任者会 (清水)	
	四附連・全附連 (副校長)	
	教育学園同窓会 (副校長・石川・越智)	
	持田地事情報セキュリティ委員会 (桂・堀)	
	職員クラブ (高須賀・田鍋・村上・合田・清水)	
	学校生協 (副校長)	
愛 知 教 育 研 究	教育会理事 (副校長)	代議員 (副校長)
	高校研究全般 (武田)	評議員 (越智)
	木材加工用機械作業主任者 (村上)	※愛教研ミライム (木原)
	防火管理者 (副校長)	※特別支援 (五井) ※法制対策 (✓)
	安全管理主任 (越智)	※壮年部 (木原) ※情報立伝 (✓)
	持田地健康安全委員会 (田鍋)	※特別厚生 (✓) ※給・配膳 (副校長)
		※青年部 (他校に依頼)
	特別支援教育委員会事務局長 (五井)	
	事務局:石川・越智・清水・本多	
	※は附小・中・特支の代表	

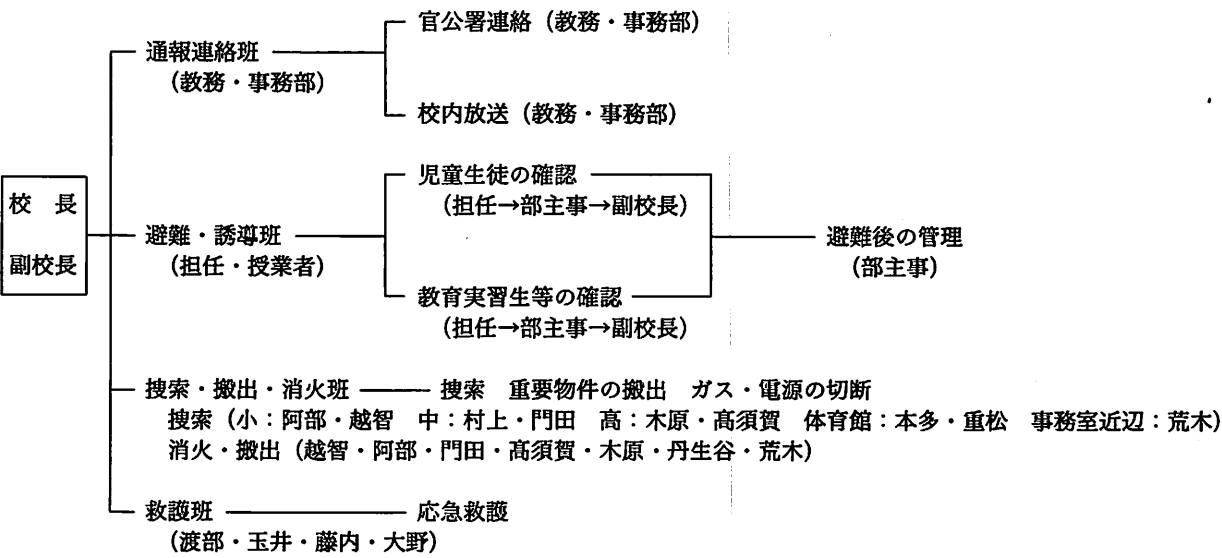
(3) 学校防災全般

① 目 的

- 災害に対して必要な準備と適切な措置により、災害を未然に防ぎ、またその被害を最小限に留める。
- 児童生徒・教育実習生等及び教職員の身体の安全を確保する。
- 重要物件等、学校財産の保全に努める。

② 行動計画

- 発見者は副校長室、事務室に通報し、次の組織により通報連絡、避難、消火にあたる。
- 組 織



③ 避難訓練等の予定

(防火防災関係)

- | | | | |
|-----|-----------|-------|------------------------|
| 第1回 | 4月15日(火) | 学校 | 避難訓練 (火災を想定しての避難訓練) |
| 第2回 | 7月22日(火) | みかんの家 | 避難訓練 (避難誘導経路の確認・教員対象) |
| 第3回 | 9月2日(火) | 学校 | 避難訓練 (地震・火災を想定しての避難訓練) |
| 第4回 | 10月28日(火) | 学校 | 持田地区合同避難訓練 |
| 第5回 | 1月9日(金) | 学校 | 避難訓練 (火災を想定しての避難訓練) |

(不審者対策)

- | | | |
|-----|----------|-----------------------|
| 第1回 | 4月9日(水) | 非常通報装置の作動確認と訓練 (教員対象) |
| 第2回 | 4月28日(月) | 非常通報装置を使つての訓練 |

6 児童生徒数及び各部・学級編制

学 部	小 学 部						中 学 部			高 等 部			合 計
学 級	月 組		花 組		星 組		1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年	
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年							
男	2	2	3	3	2	2	4	4	3	5	5	4	39
女	1	1	0	0	0	1	2	2	3	3	3	3	19
小 計	3	3	3	3	2	3	6	6	6	8	8	7	58
	6		6		5								
合 計	17						18			23			

Ⅱ 教 育 計 画

1 教育課程表

(1) 小学部

区分		組・学年		月組		花組		星組	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	5年	6年
各教科	生 活	360	360	385	385	385	385	385	385
	国 語	130	130	140	140	140	140	140	140
	算 数	70	70	105	105	105	105	105	105
	音 楽	105	105	105	105	105	105	105	105
	図 画 工 作	35	35	70	70	70	70	70	70
	体 育	105	105	105	105	105	105	105	105
道 徳		35	35	35	35	35	35	35	35
特 別 活 動		35	35	35	35	35	35	35	35
自 立 活 動		35	35	35	35	35	35	35	35
合 計		910	910	1015	1015	1015	1015	1015	1015

(2) 中学部

区分		組・学年		1年	2年	3年
各教科	国 語	105	105	105	105	105
	社 会	105	70	70	70	70
	数 学	70	70	70	70	70
	理 科	70	70	70	70	70
	音 楽	70	70	70	70	70
	美 術	70	70	70	70	70
	保 健 体 育	105	105	105	105	105
	職 業・家庭	245	280	280	280	280
道 徳		35	35	35	35	35
特 別 活 動		35	35	35	35	35
自 立 活 動		35	35	35	35	35
総合的な学習の時間		70	70	70	70	70
合 計		1015	1015	1015	1015	1015

(3) 高等部

区分		組・学年		1年	2年	3年
必修教科	国 語	105	105	105	105	105
	社 会	70	70	70	70	70
	数 学	70	70	70	70	70
	理 科	70	70	70	70	70
	音 楽	70	70	70	70	70
	美 術	70	70	70	70	70
	保 健 体 育	105	105	105	105	105
	職 業	280	280	280	280	280
	家 庭	70	70	70	70	70
	小 計	910	910	910	910	910
道 徳		35	35	35	35	35
特 別 活 動		35	35	35	35	35
自 立 活 動		35	35	35	35	35
総合的な探究の時間		35	35	35	35	35
合 計		1050	1050	1050	1050	1050

2 指導の形態別週当たり授業時数表

(1) 小学部

区分		組・学年		月組		花組		星組	
				1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科	生活	—	—	—	—	—	—	—	—
	国語	1	1	1	1	1	1	1	1
	算数	1	1	1	1	1	1	1	1
	音楽	2	2	2	2	2	2	2	2
	図画工作	—	—	—	—	—	—	—	—
	体育	2	2	2	2	2	2	2	2
	小計	6	6	6	6	6	6	6	6
各教科等を 合わせた指導	遊びの指導	2	2	2	2	2	2	2	2
	日常生活の指導	15	15	15	15	15	15	15	15
	生活単元学習	3	3	6	6	6	6	6	6
	小計	20	20	23	23	23	23	23	23
道徳		—	—	—	—	—	—	—	—
特別活動		—	—	—	—	—	—	—	—
自立活動		—	—	—	—	—	—	—	—
合計		26	26	29	29	29	29	29	29

(2) 中学部

区分		組・学年		1年	2年	3年
教科別の指導	国語	—	—	—	—	—
	社会	—	—	—	—	—
	数学	—	—	—	—	—
	理科	—	—	—	—	—
	音楽	1	1	1	1	1
	美術	—	—	—	—	—
	保健体育	3	3	3	3	3
	職業・家庭	—	—	—	—	—
	小計	4	4	4	4	4
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5
	生活単元学習	10	7.5	7.5	7.5	7.5
	作業学習	7.5	10	10	10	10
	小計	23	23	23	23	23
道徳		—	—	—	—	—
特別活動		—	—	—	—	—
自立活動		—	—	—	—	—
総合的な学習の時間		2	2	2	2	2
合計		29	29	29	29	29

(3) 高等部

区分		組・学年		1年	2年	3年
教科別の指導	国語	—	—	—	—	—
	社会	—	—	—	—	—
	数学	—	—	—	—	—
	理科	—	—	—	—	—
	音楽	1	1	1	1	1
	美術	—	—	—	—	—
	保健体育	3	3	3	3	3
	職業	—	—	—	—	—
	家庭	—	—	—	—	—
	小計	4	4	4	4	4
各教科等を 合わせた指導	日常生活の指導	5	5	5	5	5
	生活単元学習	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
	作業学習	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5
	小計	25	25	25	25	25
道徳		—	—	—	—	—
特別活動		—	—	—	—	—
自立活動		—	—	—	—	—
総合的な探究の時間		1	1	1	1	1
合計		30	30	30	30	30

3 日課表（登校 8：40）

(1) 小学部

【月組（1・2年）】

校 時	月	火	水	木	金
1	日 常 生 活 の 指 導				
2	こ と ば ・ か ず			遊 び の 指 導	こ と ば ・ か ず
	朝 の 運 動				朝 の 運 動
3	生 活 単 元 学 習	生 活 単 元 学 習	音 楽		生 活 単 元 学 習
4	日 常 生 活 の 指 導				
5	日 常 生 活 の 指 導				音 楽
6					日常生活の指導

【花組（3・4年）・星組（5・6年）】

校 時	月	火	水	木	金		
1	日 常 生 活 の 指 導						
2	こ と ば ・ か ず			遊 び の 指 導	こ と ば ・ か ず		
	朝 の 運 動				朝 の 運 動		
3	生 活 単 元 学 習	生 活 単 元 学 習	音 楽		生 活 単 元 学 習		
4	日 常 生 活 の 指 導						
5	生 活 単 元 学 習	花組 音楽	星組 生活単元 学 習	日常生活の指導	花組 生活単元 学 習	星組 音楽	生 活 単 元 学 習
6	日 常 生 活 の 指 導				日 常 生 活 の 指 導		

(2) 中学部

校 時	月	火	水	木	金	
1	日 常 生 活 の 指 導					
2	朝 の 運 動	日常生活の指導	朝 の 運 動			
3	作 業 学 習 A 木 工 班 布 工 班 印 刷 班 園 芸 班	作 業 学 習 B 農 耕 班	作 業 学 習 A 木 工 班 布 工 班 印 刷 班 園 芸 班	生活单元学習	1 年	2・3 年 作 業 学 習 C ク リ ー ン 班
4					生活单元学習	
5	生活单元学習	音 楽	生活单元学習	総 合 的 な 学 習 の 時 間	生活单元学習	
6		保 健 体 育				

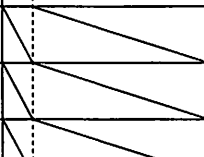
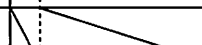
(3) 高等部

校 時	月		火	水		木	金
1	日 常 生 活 の 指 導						
2	朝 の 運 動				作 業 学 習 C 農 耕 班 ク リ ー ン 班	朝 の 運 動	
3	作 業 学 習 A 木 工 班 布 工 班 印 刷 班 園 芸 班 ク リ ー ン 班	作 業 学 習 B 木 工 班 布 工 班 印 刷 班 園 芸 班 ク リ ー ン 班	作 業 学 習 A 木 工 班 布 工 班 印 刷 班 園 芸 班 ク リ ー ン 班	生活单元学習			
4							
5	音 楽	保健体育	作 業 学 習 B 木 工 班 布 工 班 印 刷 班 園 芸 班 ク リ ー ン 班			保健体育	音 楽
6	生活单元学習			生活单元学習			

※作業学習 A は中学部・高等部合同で実施

4 年間行事計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	火 運営委員会 着任 合同新任式	木	金	火 (中1) 宿泊学習～2日	金 四附連代議員会 四附P連代表者会	月 始業式 下校11:40 9月教育実習～12日
2	水 企画委員会	金	月 現場実習説明会 プール清掃	水 企画委員会 学校保健実習	金	火 給食停止日 避難訓練(地震・火災)
3	木 職員会議	土 憲法記念日	火 給食停止日 プール清掃予備日	木 教育実習事前指導④	金	水
4	金 各種係会 引き継ぎ	土 みのりの日	水 学校説明会 企画委員会	金	月	木
5	土	日 こどもの日	木 校納金振替日 尿検査 教育実習事前指導③	土	火	金 校納金振替日 任命式
6	日 虹の会(同窓会総会)	月 振替休日	金	土	水 企画委員会 研究職員会議	土
7	月 各種係会	水 校納金振替日 PTA役員会 職員会議	土	月 校納金振替日	木	日
8	火 職員会議 非常通報装置作動確認訓練	木 歯科検診	日	火	金	月 (中・高) 委員会活動
9	水	金	月	水 職員会議	土	火 PTA役員会
10	木 入学式準備	土	火 PTA役員会	木 個人懇談・下校13:10	金	水 企画委員会
11	金 新任式・始業式 入学式 下校11:40	土	水 眼科検診 職員会議	金 個人懇談・下校13:10	土 山の日	木 (高2) 宿泊学習～12日
12	土	月 (高) 胸部X線検査	木 (高) 現場実習～25日 (中3) 宿泊学習～13日	土	火	金 教育実習生離任式
13	日	火	金	日	水 計画年休	土
14	月	水 研究職員会議 心電図検査	土	月 (高) 個人懇談 下校13:10	木 計画年休	日
15	火 避難訓練(火災)	木 全校練習 尿検査 教育実習事前指導①	土	火	金 計画年休	月 敬老の日
16	水 任命式	金 尿検査予備日	月 水泳学習開始	水 研究職員会議 (高3) 宿泊学習～17日	土	火
17	木 大学附属合同研修会 下校13:10	土	火 給食停止日 (中) 現場実習・校内実習～20日	木 給食停止日 (全) 下校14:00	金	水
18	金 (中・高) 委員会活動	土	水 研究職員会議	金 終業式・表彰式 下校11:40 職員会議	月	木 修学旅行前検診 (高1) 宿泊学習～19日
19	土	月	木	土	火	金
20	日 日曜参観日 PTA総会等 下校11:40	火 運動会総練習 職員会議	金	日 魚つかみどり大会	水	土
21	月 繰替休業日	水	土	月 海の日 夏季休業～8/31	木 職員会議 研究推進委員会	金
22	火 下校13:10 家庭訪問 内科検診 企画委員会	木	土	火 避難訓練(みかんの家) 職員作業	金	月 職員会議
23	水 下校13:10 家庭訪問 新入生歓迎会	金	月 職場見学会	水 就職支援ネットワーク会議	土	日 秋分の日
24	木 (高) 家庭訪問 下校13:10	土	火 (中2) 宿泊学習～25日	木	金	水 研究職員会議 (高3) 修学旅行～26日 (中3) 修学旅行～26日
25	金 四附連総会(高知)	日 運動会	水	金	月 研究職員会議	木 給食停止日 (花) 宿泊学習～26日
26	土	月 繰替休業日	木 尿検査(予備日) (星) 宿泊学習～27日	土	火	金
27	日	火 給食停止日	金	日	水 入学希望者説明会	土
28	月 避難訓練(不審者 対応)	水	土	月	木	金
29	火 昭和の日	木 教育実習事前指導② 下校15:20	土	火	金	月
30	水 運動会集会	金	月	水	土	火
31		土		木	金	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	水	田	月	困 元日	固	固
2	木	固	火 給食停止日(弁当) PTA役員会	金	月	月 個人懇談・下校13:10 研究推進検討委員会
3	金	月 文化の日 学校祭 下校12:00	水	固	火 給食停止日	火 給食停止日 個人懇談・下校13:10
4	固	四 繰替休業日	木	固	水 企画委員会	水 企画委員会
5	固	水 校納金振替日	金 校納金振替日 高入学者選考 下校11:40	月 校納金振替日	木 校納金振替日	木 校納金振替日
6	月 校納金振替日 10月教育実習～24日	木 下校11:40 小学部入学者選考	田	火	金 下校11:40	金 下校14:00
7	四 臨時休業日 (地方祭)	金 下校11:40 中学部入学者選考	固	水	田	田
8	水 企画委員会	田	月	木 始業式 下校11:40 職員会議	固 虹の会 (新成人を祝う会)	固
9	木	固	火	金 避難訓練(火災)	月	月
10	金	月	水 企画委員会	固	火 新入生説明会	火 高等部卒業式 下校11:40
11	固	火 高願書受付～14日	木	固	困 建国記念の日	水 職員会議
12	固	水	金	固 成人の日	木	木
13	固 スポーツの日	木 <高2・3>後期 現場実習～12/3	田	火 PTA役員会	金	金
14	火 小中願書受付～20日	金	固	水 任命式	田	田
15	水	田	月 個人懇談 下校13:10	木	固	固
16	木 歯科検診	固	火 個人懇談・下校13:10 生徒会役員選挙 高合格発表	金 <中・高>委員会活動	月	月
17	金	月 <高1>後期現場 実習～11/28	水 <高>個人懇談 下校13:10	固	火	火
18	固	火 小中合格発表	木	固	水 職員会議	水 給食停止日 下校14:00
19	固	水	金 研究職員会議	月	木	木 修業式 小中卒業式 下校11:40 職員会議
20	月	木 <中>現場実習・ 校内実習～27日	田	火	金 お別れ会	固 春分の日
21	火	金	固	水	田	田
22	水 持田地区4校合同避難訓練 職員会議	田	月 給食停止日(弁当) 下校14:00	木	固	固 春季休業～4/10
23	木	固 勤労感謝の日	火 終業式 下校11:40 職員会議	金	固 天皇誕生日	月
24	金	固 振替休日	水 冬季休業～1/7	固	火	火
25	固	火	木	固	水 研究職員会議	水
26	固	水	金	月	木 <高>お別れ交流会	木
27	月	木	田	火	金 <高>個人懇談・下校13:10 PTA役員会	金 合同離任式
28	火 給食停止日 研究職員会議	金	固	水	田	田
29	水	田	月 年末の休日	木 下校13:10 研究大会準備 PTA清掃作業		固
30	木	固	火 年末の休日	金 愛媛教育研究大会 (特別支援学校の部)		月
31	金 学校祭準備			水 年末の休日	固	火

5 進路指導（卒業時年度別進路状況）

年 度	性 別	中 学 部								高 等 部									
		就 職	本 校 進 学	他 校 進 学	訓 練 校 等	福 祉 施 設	在 宅	そ の 他	計	一般 就 労 (就 職)		訓 練 施 設 ・ 訓 練 校	福祉的就労 (福祉施設の利用)				在 宅	そ の 他	計
										一 般 企 業	就 労 継 続 A		就 労 移 行	就 労 継 続 B	生 活 介 護	自 立 訓 練			
S47～ H27	男	10	175	4	2	3	5		199	113		1	89				11		214
	女	5	97	4	1	0	1		108	63		3	55				10		131
28	男		3						3	2				3	2				7
	女		2						2	1									1
29	男		3						3	2		1		1	1				5
	女		3						3		1			1	1				3
30	男		4						4	1		1	1		2				5
	女		2						2	1				2					3
R元	男		3						3	3	1			1					5
	女		3						3	1	1			1					3
R 2	男		3						3	2	1			1					4
	女		3						3	2	1			1					4
R 3	男		4						4	2	1	1			1				5
	女		2						2	1	1			1					3
R 4	男		3						3	2				1	1				4
	女		3						3	1	1			2					4
R 5	男		4						4	2				2					4
	女		2						2	1	1			1	1				4
R 6	男		5						5	2		1		2					5
	女		1						1	2	1								3

※ 進路先区分の「一般就労（就職）」の中には、福祉施設の利用の就労継続支援A型事業所を含む。

III 教育研究活動

1 研究の方針

- (1) 知的障がいのある児童生徒の教育を効果的に行うため、常に児童生徒の実態把握に心掛け、理論に裏付けられた実践研究を継続する。
- (2) 研究の理論的な根拠・問題の究明については、論議を尽くして討議し、関連研究諸機関における専門的立場にある研究者の指導・助言を仰ぎ、研究の成果をより一層確かなものとする。
- (3) 教育学部・附属校園との連携を図り、互いに協力して研究を進め、特別支援教育における研究体制を確立する。
- (4) 県下の各種研究団体・研究組織と密接な連携を図り、各種の教育研究会に積極的に参加し、研究推進を図るように努める。

2 研究の概要

昭和48年度以降、研究実践を毎年研究集録としてまとめ、愛媛教育研究大会で発表している。以下は、これまでの研究主題及び研究集録を示す。

昭和47年4月～昭和48年5月

教育課程の編成

研究集録1

昭和48年6月～昭和49年5月

障害の多様化に応ずる養護・訓練の指導

研究集録2

昭和49年6月～昭和50年5月

障害の多様化に応ずる養護・訓練の実践事例とその課題

研究集録3

昭和50年6月～昭和52年6月

意思伝達力を高める指導（2か年研究）

研究集録4

昭和52年7月～昭和55年5月

身体的能力の向上を求めて（3か年研究）

研究集録5～7

昭和55年6月～昭和57年5月

生活力を高める指導（2か年研究）

研究集録8・9

昭和57年6月～昭和60年5月

生活に役立つことば・かずの指導（3か年研究）

研究集録10～12

昭和60年6月～昭和63年5月

意欲的な子どもを育てる指導

研究集録13～15

昭和63年6月～平成4年5月

一人ひとりが生きる指導内容・指導方法の改善（4か年研究）

研究集録16～19

※ 平成3年3月「養護学校の授業を探る」を明治図書より出版（A5版 230頁）

平成4年6月～平成7年6月

一人ひとりの自立を求めて 一人ひとりが生きる生活づくりー（3か年研究）

研究集録20～22

平成7年7月～平成10年5月

社会性を育て、高める生活づくりを求めて

一人を見つめ、個に応じた支援のあり方に視点をあててー（3か年研究）

研究集録23～25

平成10年6月～平成13年5月

主体的に生きる子どもを育てる

一人が生き、集団が活きる授業づくりー（3か年研究）

研究集録26～28

平成13年6月～平成17年1月

子どもたちの豊かな生活を目指して（3か年研究）

研究集録29～31

※ 平成14年度から愛媛教育研究大会（養護学校の部）の開催日が第3学期となる。

平成17年2月～平成20年1月

子どものニーズにこたえる学校であるために

ー連携・協力体制に基づく自閉症児への支援の最適化を目指してー（3か年研究）

研究集録32～34

平成20年2月～平成23年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

ーキャリア教育の視点から12年間の教育内容の検討ー（3か年研究）

研究集録35・36

※ 平成23年2月「将来の『働く生活』を実現する教育 ーキャリア教育に基づく支援内容・方法の検討」を明治図書より出版（A4版 165頁）

平成23年2月～平成25年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

ー小・中・高等部12年間の系統的なキャリア教育を推進するための授業づくりー（2か年研究）

研究集録37・38

平成25年2月～平成28年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

ー生活意欲・働く意欲を育てる授業づくりを通して、キャリア発達を支援するー（3か年研究）

研究集録39～41

平成28年2月～平成31年1月

地域で存在価値を示すことのできる子どもを育てる

ー「自らの価値」を磨き、実感する確かな学びを通してー（3か年研究）

研究集録42～44

平成31年2月～令和4年2月

地域で豊かに生きる子どもを育てる

ー地域と連携・協働し、貢献を実感する学びを通してー（3か年研究）

研究集録45～46

令和4年3月～令和7年3月

貢献を実感し、共に育つ子どもの育成

ー学びをつなぐカリキュラム・マネジメントを中心にー（3か年研究）

研究集録47～49

Ⅳ 教 育 実 習

本校では、学校教育教員養成課程、教育実践高度化専攻、他大学の学生等についての教育実習を行う。

1 年度別学生数

年 度	課 程	主 免 生	副 免 生				特 殊 教 育 特 別 専 攻 科	臨時養護学校 教員養成課程
			型学校	幼稚園	小	中		
平成元	養護学校教員 養成課程	20	1	0	22	1	9	18
2		17	0	2	13	2		14
3		21	0	1	9	1		17
4		22	0	1	1	0		16
5		21	2	3	8	0		14
6		20	0	0	5	0		19
7	障害児教育教員養成課程 (発達障害教育)	21	(聴覚言語障害教育)	0	6	0	大学院教育学研究科 (特別専攻科) 特別支援教育専攻科 (特別支援学校教育専修・特別支援教育 コーディネーター専修) 特別支援教育専攻科 (特別支援学校教育専修・特別支援教育 コーディネーター専修) (特別支援学校教育専修) 教育実践高度化専攻 (特別支援教育コース) その他 (他大学等)	
8		19	1	0	6	0		
9		20	4	0	6	0		
10		19	10	0	7	1		
11		18	(初等教育となる)	16	0	10		
12		20	7	14	0	8		
13		11	8	15	2	4		
14		9	12	3	5	8		
15		11	16	0	7	12		
16		11	9	3		11		
17		11	8	(学校教育教員養成課程) 他	11	8		
18		10	7		2	6		
19		12	8		11	4		
20		12	8		9	(特別支援教育コーディネーター専修) 11		
21	(発達障害コース)	12	(聴覚言語障害コース)	(初等教育コース・中等教育コース)	8	7		
22		13	10		12	2		
23		12	8		10	7		
24		14	4		12	5		
25		12	2		7	7		
26		13	5		1	6		
27		9	2		1	6		
28		11	9		5	2		
29		13	1		4	4		
30		11	0		1	5		
31 (令和元)		14	0		2	2		
2	学校教育教員養成課程	16			6	4	教育実践高度化専攻 (特別支援教育コース)	その他 (他大学等)
3		15			5	1		
4		22	(特別支援教育コース) 特別支援教育教員養成課程		6	2		
5	学校教育教員養成課程	21	4		12	4	2	1 他大学 2
6		22	0		15	2		

2 本年度の計画

対 象	教育実践高度化専攻 特別支援教育コース 他	学校教育教員養成課程	
		(初等教育・中等教育コース)	(特別支援教育コース)
事前指導	指導講話 授業参観等 (5/15、5/29、6/5、7/3)		
実習期間	9月1日～9月12日	9月1日～9月12日	10月6日～10月24日
内 容	第1週	○観察参加 ○授業実習	○観察参加 ○授業実習 ○他部実習
	第2週	○授業実習	○授業実習
	第3週		○授業実習
授業時数	1単位時間以上	1単位時間以上	2単位時間以上
単 位 数	2	2	3
そ の 他	(配付物) 教育実習の手引・学校要覧		

V 入学者選考

1 本校の使命

学校教育法の規定及び愛媛大学附属学校園の理念に基づき、知的障がいのある子どもの教育を行うとともに、次の任務を果たすことを目的とする。

- 教育の理論及び実際に関する研究並びにその実証を行う。
- 教育学部（以下「学部」という）における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、及び学部の計画に従い学生の実習や介護等体験を実施する。
- 附属校として実践的研究の成果を生かし、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮する。

2 本校の教育方針

本校は、学校の教育目標に「たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～」を掲げ、自主的、主体的な生活ができ、様々な場で役割を果たし貢献できる子どもを育てる。

3 募集人員

（小 学 部） 若干名 （中 学 部） 若干名 （高 等 部） 若干名

4 選 考

(1) 新年度入学者選考

小・中学部は11月上旬、高等部は12月上旬に行う。なお小・中学部については、欠員があれば再募集を行うことがある。

(2) 学期途中の転入学選考

学期途中において欠員のある場合、または、欠員の生じた場合は、転入学選考を行うことがある。

(3) その他の転入学選考

その他、特に転入学選考の必要が生じた場合は、職員会議にかけ、校長がこれを決定する。

5 応募資格

- (1) 主たる障がいが知的障がい、それ以外の障がい特に著しくない者
- (2) 保護者の付添い、または、一人で通学が安全にできる者
- (3) 本校の使命や教育方針を理解し、賛同する保護者の子である者

6 願書受付期間

願書受付期間は別に定めるが、概ね選考日の3週間前の4日間とする。

（ただし、学期途中の転入学選考については3日間とする。）

7 応募手続

(1) 提出書類

入学願書……………本校所定のものに保護者記入

生育調査書…………… ”

学校（園）長調査書……………本校所定のものに学校（園）にて記入

（ただし、未就学（園）児は、教育センターや児童相談所等で記入したもので代えることができる。）

(2) 入学検定料

規定により大学へ納入する。(小学部1,000円、中学部1,500円、高等部2,500円を郵便小為替で納入する。)

8 選考方法

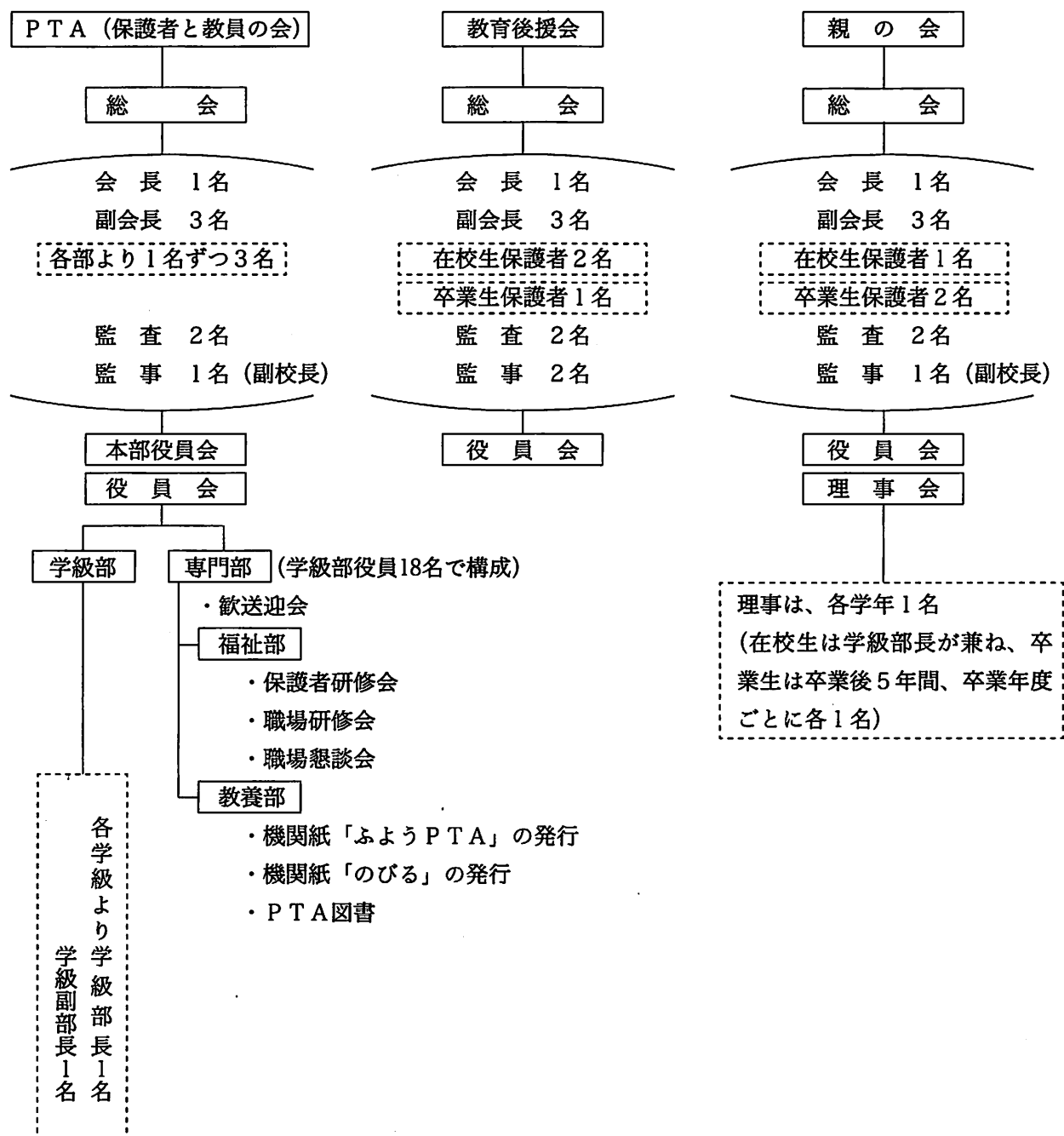
本校の使命に基づき、検査・面接及び調査書の内容等から総合的に判断して、入学者を決定する。

9 今年度入学者選考の日程(予定)

部	願書配付期間	願書受付期間	入学選考日
小・中	8月27日(水)～	10月14日(火)～17日(金)	小11月6日(木) 中11月7日(金)
高	8月27日(水)～	11月11日(火)～14日(金)	12月5日(金)

※ 入学希望者説明会を8月27日(水)午前中に予定しています。

VI PTA・教育後援会・親の会



VII 津田山実習地・日常生活訓練施設「みかんの家」

1 所在地 松山市北斎院町津田山乙223番地

2 津田山実習地の沿革

昭和51年4月1日

松山市北斎院町津田山乙223番地 (14,374㎡) に
本校農園実習地として財務局より移管が決まる。

昭和52年3月29日

教場1棟 (129㎡) 完成 (現 たけのこの家)

昭和58年3月30日

農機具庫、作業教室 (プレハブ) 移設

平成元年6月1日

水田 (2a) 造成

平成4年4月12日

「日常生活訓練施設」設置が認められる。

平成4年9月1日

「日常生活訓練施設」建設施工

平成5年2月22日

「日常生活訓練施設」の完成

平成5年5月14日

「日常生活訓練施設」の落成式典を挙行し、「みか
んの家」と命名する。

平成6年8月10日

貯水池改修工事完成

平成7年4月28日

屋外付帯施設「そったくあん 啐啄庵」完成

平成13年8月

篤志家並びに教育学部事務職員と合同
で「みかんの家」の外壁の塗装作業を
行う。

平成15年3月

篤志家より雨水貯水タンク1基と溜水
用設備の寄贈を受ける。又、タンクを
1基設置し約5tの雨水を貯水できる
ようにする。

平成16年3月

「みかんの家」の大広間の畳の表替え
を行う。

平成17年9月

耕うん機購入

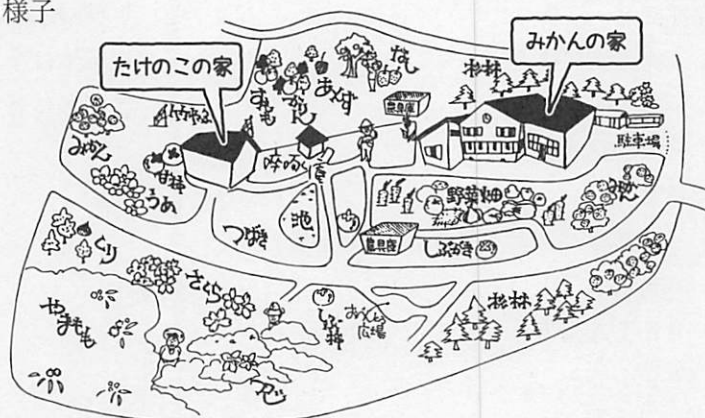
平成21年9月

耕うん機購入

平成28年3月

農機具用倉庫の設置

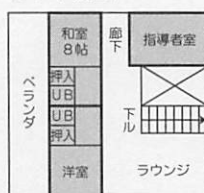
3 津田山実習地の様子



4 日常生活訓練施設「みかんの家」の施設概要

5 津田山実習地の場所

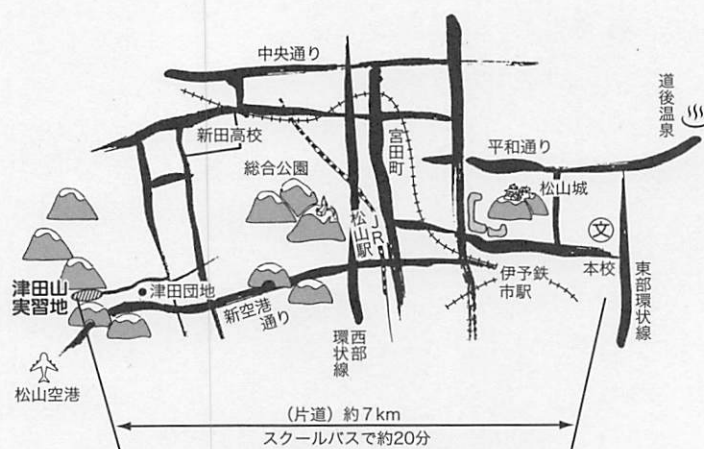
2F平面図・



面積

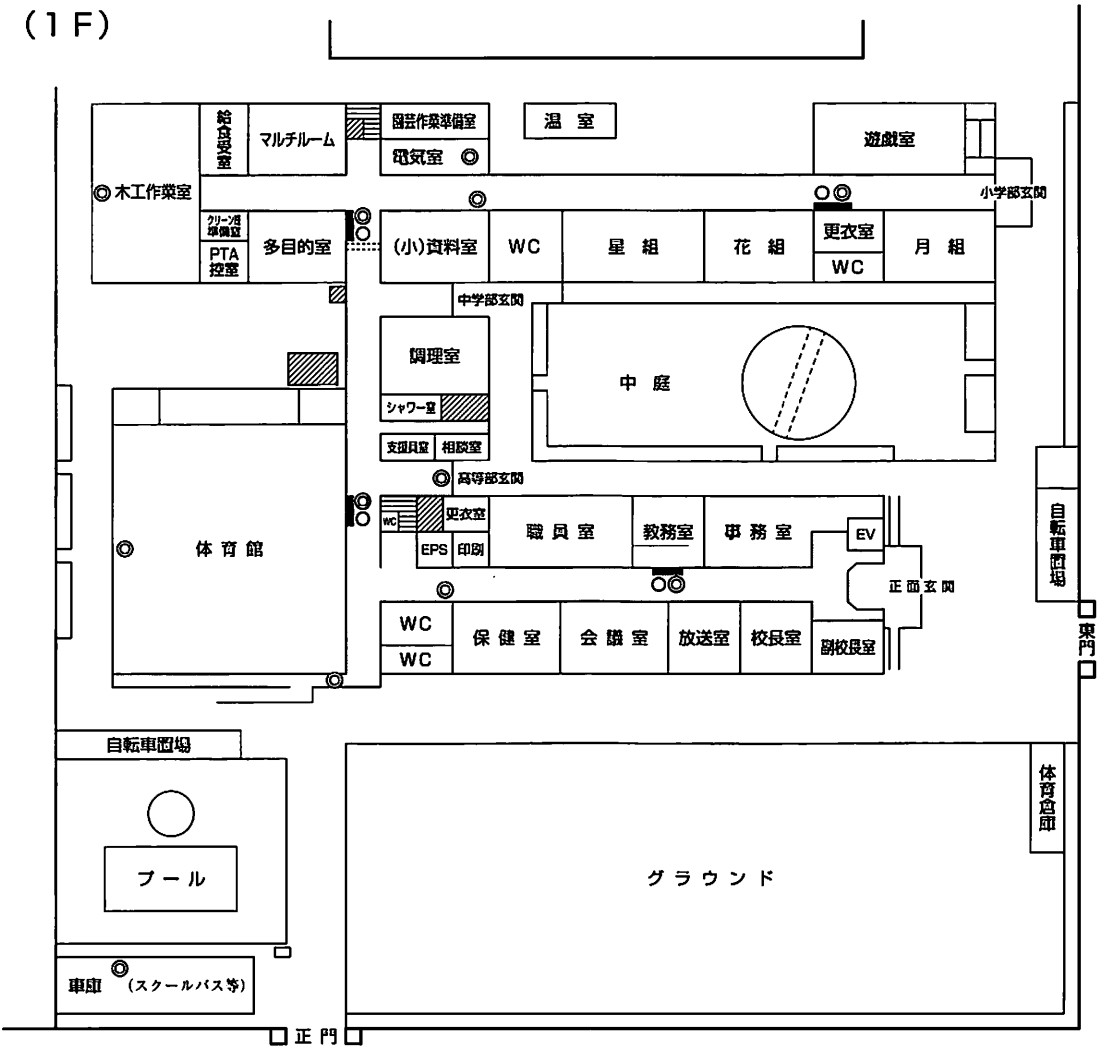
建築総面積	461㎡
1階 和室	99㎡
調理実習室 兼多目的室	66㎡
洗面・洗濯室	16㎡
脱衣・浴室	30㎡
2階 和室	21㎡
洋室	21㎡
ラウンジ	56㎡
その他	152㎡

1F平面図



教室配置図（防火設備配置図）

(1F)



(2F)

